

河川環境学習報告

1 河川環境学習は、河川の調査活動を通して、次の3点を目的として行いました。

- ①身近な水辺と地域との関わりを深く知る。
- ②身近な水辺環境への関心を高める。
- ③水環境保全の態度を養う。

2 水辺のすこやかさ指標を活用して、県内5河川で7つの小学校と連携して実践を行いました。(右図)
実践時期は平成27年11月から12月です。



3 総合的な河川調査法である「水辺のすこやかさ指標（環境省，2009）」を活用しました。

水辺のすこやかさ指標は、次の5軸より成り立っています。

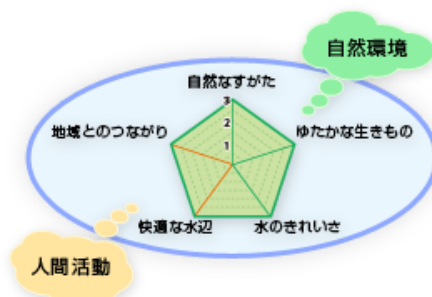
指標1 自然なすがた：自然がどのくらい残されているか。

指標2 ゆたかな生きもの：生きものの豊かさはどうか。

指標3 水のきれいさ：水のきれいさ、清らかさはどうか。

指標4 快適な水辺：水環境のきれいさや静かさはどうか。

指標5 地域とのつながり：水環境と人とのつながりはどうか。



センター版水辺のすこやかさ調ベワークシートと5つの指標

4 各河川における実践の状況

(1) 小野川 稲敷市立古渡小学校 4年生 15名 8:30~15:30



源流の一つつくば市洞峰公園



牛久市立中根橋付近



牛久自然観察の森での舟運の話



稲敷市古渡橋付近

源流であるつくば市の洞峰公園，中流域の牛久市中根橋付近，下流域の稲敷市古渡橋付近の3カ所で観察，調査活動を行いました。牛久自然観察の森の坂さんから江戸時代には，小野川は霞ヶ浦から利根川を経て江戸（東京）までつながり，小野川舟運として船の交通が栄えていたことをお聞きしました。稲敷市の古渡橋付近には，サギやカワウ，カモの仲間の野鳥がたくさん観察できました。

小野川 稲敷市立江戸崎小学校 5年生 50名 11月25日 8:30～12:10



つくば市洞峰公園



牛久市中根橋



稲敷市伊佐津の水神宮



稲敷市古渡橋

源流であるつくば市の洞峰公園，中流域の牛久市中根橋付近，下流域の稲敷市古渡橋付近の3カ所で観察，調査活動を行いました。稲敷市伊佐津では，舟運が栄えていたときに造られた水神宮を見学しました。稲敷市の古渡橋付近で，カワウやカンムリカイツブリが観察できました。

(2) 巴川 銚田市立徳宿小学校 4年生 35名 11月20日 8:30～15:30



小美玉市池花池での野鳥の観察



愛宕山にまつわる昔話を聞く



愛宕山の自然の解説を聞く

銚田市串挽では巴川の河口での調査，銚田市と小美玉市，茨城町の市町の境となるもみじ橋付近での魚や水生生物の調査，そして巴川流域の池花池での野鳥観察，源流となる愛宕山での昔話と自然観察を行いました。巴川と池花池での自然観察では，小美玉生物の会のみなさんのご協力を頂きました。愛宕山での昔話は民話の会の光野さん，自然観察はあたご四季の会の大山さんにご協力を頂きました。

(3) 桜川 土浦市立斗利出小学校 4・5年生 26名 12月1日 8:30～12:10



宝篋山小田休憩所で環境整備の話聞く



宝篋山の溪流



投網を投げる鈴木組合長



土浦市土浦橋付近

つくば市宝篋山付近の溪流を観察しました。登山口の宝篋山小田休憩所では，小田地域振興協議会の東郷さんに宝篋山のこれまでの様子や環境整備についての話を頂きました。桜川漁協組合長の鈴木さんには，桜川の話や漁具の紹介等して頂きました。土浦市土浦橋では，下流の様子を観察しました。

(4) 恋瀬川 かすみがうら市立七会小学校 5年生 16名 12月15日 8:30～12:10



雪入川源流付近



雪入川上流



石岡市高浜 愛郷橋付近

恋瀬川の支流で上流の雪入川，中流の天の川，そして下流の恋瀬川を観察場所としました。雪入ふれあいの里公園の川崎さんに同行して頂き，野鳥の観察についての指導を受けました。河口の石岡市高浜付近では，カワセミやミサゴ，カモの仲間の野鳥を観察できました。

恋瀬川 石岡市立瓦会小学校 5年生 16名 12月16日 8：30～12：30



石岡市鳴滝



石岡市五輪堂橋付近



石岡市高浜 愛郷橋付近



恋瀬川の上流付近の石岡市鳴滝，中流の石岡市五輪堂橋，そして恋瀬川の河口にあたる石岡市愛郷橋付近での観察を行いました。鳴滝の水は，水温が低くきれいな水が流れていました。五輪堂橋付近では，川の内側と外側の流れの違いを確認できました。河口の石岡市高浜付近では，カワセミやミサゴといった野鳥を見ることができました。野鳥の観察では，かすみがうら市雪入ふれあいの里公園の川崎さんに指導して頂きました。

(5) 酒沼川 石岡市立瓦会小学校 5年生 16名 12月16日 8：30～12：30



親沢公園



大古山橋で見つけたサケの死がい



城里町真端源流付近

涸沼川の下流から上流に向かって観察を行いました。大洗町的那珂川と涸沼川が合流する付近、大洗町の大貫橋、茨城町親沢公園、笠間市大古山橋とさかのぼりました。昼食をとった愛宕山からは、涸沼や霞ヶ浦を見ることができました。源流付近となる城里町真端付近へ、片道 30 分の行程を歩いて観察をしました。茨城県環境アドバイザーの廣瀬さんに同行して頂き、涸沼川や涸沼について解説を頂きました。

4 学習効果の調査結果

| 事前（有効回答数 51） | 事後（有効回答数 83） |
|-------------------|----------------------------|
| 川に親しみを（身近に）感じますか？ | [郷土愛・愛着] |
| 「感じる」47% | 「感じた」62% →認識の変容 15%の向上 |
| 川に関心がありますか？ | [関心] |
| 「そう思う」41% | 「そう思う」60% →認識の変容 19%の向上 |

| | |
|--|-------------------------------------|
| 観察した場所によって川の様子のがわることがわかりましたか？ [理解] | 水辺のすこやかさ調べのやり方がわかりましたか？ [理解] |
| 「そう思う」71%。 →河川の場合によって環境が異なることが理解できた | 「そう思う」74% →水辺のすこやかさ調べの調査方法を理解できた |

- ・「郷土愛・愛着」「関心」については、学習後の向上が認められました。
- ・「河川の場合が異なると環境が異なること」「水辺のすこやかさ調べの調べ方」については、7割以上の児童が、理解できたと回答していました。

5 まとめ

- ・各小学校の担当者からは、貴重な体験ができたとの感想がたくさんありました。

○ 上流から下流までの流域を対象とした河川環境学習は、机上の学習ではなかなか実感がもてない流域概念について、体験をとおして理解を深めるとともに、流域住民として河川に対する責任感を養うことになるものと考えます。